

総合交通政策調査特別委員会

(平成25年5月10日)

豊田政典委員長

皆さん、おはようございます。

総合交通政策調査特別委員会を開催いたします。

早朝よりお集まりをいただきましてありがとうございます。

傍聴の方、8名ほど入られております。それから、NHKさんから撮影の要請が来ていますが、これを認めていきたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

(異議なし)

豊田政典委員長

本日は、議題としては、近鉄内部・八王子線の存続についてということで、お手元に配ってある資料は、昨日メールボックスに配付されたものと全く同じものでありますので、もし不要な方がみえましたら事務局にお返してください。

前回、報告書案についてのいろいろな意見をいただいたものを全て盛り込んだつもりで書き直させていただきました。昨日配付いたしましたので事前にお読みいただいているかと思っておりますので、本日、それについて、下線部修正部分について意見をいただき、最大でも9時50分には終了する予定でありますので、固めていきたいなと思っております。

それでは、少し分けながら意見を伺っていきたいと思っておりますので、お手元の資料をもらってください。

1ページから6ページのまとめの前まで、大きな3番まで。項目で言うと1から3まで、1、2、3についてご意見があればお出しいただきたいと思っております。どうぞ。

加藤清助委員

2ページの調査研究のところの(1)の最初の下線部なんですが、ここで別添の資料1をつけていただいて、表記として、現在の形態で近鉄が経営を継続することは困難でありという表記についてちょっとどうなのかなと思って。確かに資料を見ると、近鉄内部・八王子線の赤字だとか、輸送量の減少だとか、参考人の経営環境が人口減で厳しくなっているということを言われていて、ただ、近鉄の経営自体は困難なわけではないというふうに

僕は見ているんです。あえて表記するとすれば、現在の形態で近鉄内部・八王子線の赤字克服は困難とかいうところの認識が資料との整合性があるのであって、近鉄の経営を継続することが困難というのは物すごく、受け取りようによってはあれかなという思いがしました。

豊田政典委員長

言われるように、文章の構成として、近鉄の認識ですよ、困難だというのは。だから、少し変えたほうがいいかなと、言われながら思いました。

加藤委員、修正案って、今、話せます。

加藤清助委員

だから、今言ったように、例えば、別添の資料だとか、この間の論議でいくと、このままの形態で近鉄内部・八王子線の赤字克服は困難とかいうのが我々の共通の認識だという点なのかなというふうに、議論の経過を踏まえて思っています。

豊田政典委員長

例えば、現在の形態で近鉄が赤字克服するのは困難でありというふうに変える。

加藤清助委員

そんなことかな。ほかの人……。

豊田政典委員長

という意見です。

文章がちょっと拙かったかなと思って私も聞いていますが、この点、どうでしょう。

森 智広副委員長

いや、私も投げかけなんですけど、ただ、じゃ、の近鉄100%子会社にすれば赤字が解消するかと言われると、その辺も定かじゃないところもあるし、赤字を解消するための2パターンだという併記だと、ちょっと。どういう書き方になるんですかね。赤字が解消できないから、以下の二つが考えられるという書き方にすると、でも赤字が完全に解消

できるとは限らないし、でも赤字が出る可能性があるので、赤字解消のためという理由づけだと二つが挙げられないので。

豊田政典委員長

なるほど。今のわかりますよね。

そうしたら、例えば下線の前のところを変えて、第16回委員会で示された近鉄の考え方によると、現在の形態で近鉄が経営を継続することが困難でありというふうに書いたらどうですか。近鉄の認識としては継続は困難だと。うなずいていただいている方もみえますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

豊田政典委員長

じゃ、事務局メモをしておいてください。

ほかの部分で、1から3です。ご意見ありますか。よろしいですか。

(なし)

豊田政典委員長

次、行きます。

それでは、6ページを見てください。

一番ご意見をいただいた4番のまとめのところ、前は集約意見1とか7とか、やっていましたが、文章にすべしということでしたので、全てを盛り込む形で文章にしてみました。お読みいただいていると思いますので、ご意見をいただきたいなと思います。

加藤清助委員

6ページの4のまとめの下線部の中段あたりなんですけど、まとめは、次に、さらに、最後にという形でまとめられていて、別にそれはいいと思うんですけど、最初のほうの「また」の後段のところ、「市の負担を」という文言があって、その次に、「次に、路線存続する公費負担について」と、市の負担と公費負担というのが出てくるんですが、こ

れは分けた意味合いがあるのか、一緒にするとまずいのかという思いがあったのが一つと。

ここで言うのは、さっきの話、鉄道として存続するためには最小限の公費負担をなさ
いよというこの委員会のまとめになるんですが、その意図するところは、総合計画だ
とか推進計画で示されてきた車両更新、駅前広場環境の整備という公費負担がありますよね。
それを上回って運営費補助だとか、第三者譲渡だとか、子会社化の中での公費負担をも含
む意味合いの意図というふうに解するのかという。その最小限という意味合いのね。

豊田政典委員長

市の負担と公費負担の違いは、単純に、我々、市議会ですから、上は市の負担というこ
とと、それから、下の意味合い、公費としたのは、市に限らず、国、県の補助も受けるべ
しという意味で分けているだけです。おかしい。

加藤清助委員

それはわかりました。

豊田政典委員長

いい。

加藤清助委員

だから、公の部分は市以外の公費もあるという。

豊田政典委員長

そうですね。

ほかにどうでしょう。よくやったなとか。

森 智広副委員長

ちょっとよろしいですか。

豊田政典委員長

ちょっと、じゃあ言ってください。

副委員長が今の意見を聞きながら、改めてみずから疑問点を出していただきます。

森 智広副委員長

いやいや、違います。ちょっと答えはないんですけど、先ほど加藤委員からご指摘があった2パターンに絞られたという文言ですけど、調査研究の部分と整合性がとれていないような気もするんですけど、どう変えたらいいのかという答えのないまま問題提起をさせていただきます。

豊田政典委員長

今言われたのは、2ページの加藤委員指摘の3の(1)先ほどの部分と、繰り返し6ページは同じことを言っているんですけど、その整合性がとれているのかという問題提起だと思います。

別にええのと違う。どうでしょう。

石川善己委員

これとは別の部分。

豊田政典委員長

今のは。

石川善己委員

特にはないです。

豊田政典委員長

よろしいですか。

別の部分で、どうぞ。

石川善己委員

まとめの冒頭のところなんですけれども、これがいいのかどうか分からないんですけども、まとめとしてばんと一番最初に持ってくるのって、僕は、2段落目の近鉄内部・八

王子線に関しては、当委員会の見解としては、要は、鉄道としての存続という方向で近鉄と協議、交渉を行うことを要望しますというのを一番頭に持ってきたほうがいいのかなと個人的には感じるんです。

かつという形で、一番冒頭の部分の中段から、また四日市市においては云々というところにつながっていったほうが、この委員会の調査の結論を冒頭にぼんと持ってきたほうが文章的には、個人的にはいいのかなと感じたものですから、どうかなと思うんですけれども。

豊田政典委員長

冒頭というのは、まとめの次に2段落目を持ってこいと。

石川善己委員

自分の感覚としては、まとめとして一番冒頭に本委員会の結論としてはという形で、鉄道としての存続という方向で近鉄と協議、交渉を行うことを要望しますと。なお、四日市市においてはという、まとめの2行目の中段部分の、なお四日市市においては、当委員会の内容を踏まえて、協議、交渉に挑み、しかるべき時期に対して云々という文章にしたほうが、結論が冒頭のほうがインパクトがあるのかなと個人的に感じたもので。

豊田政典委員長

鉄道存続というのが最大の結論ではないかと。それを最初に持っていけと。

石川善己委員

そのほうがいいのかなと、それはもう個人的にそう感じただけなので。それがいいのか悪いのかというのは。

豊田政典委員長

というご意見をいただきましたが、どうでしょう。

芳野正英委員

表記でいうと、この1段落目というのは、まとめの補足とかで、本当の結論というのは、

この空白になった本委員会は四日市市に対してのところなのかなと思うので、私はこの配置でいいのかなと思うんですけども、前段はどっちかという補足説明ですので、本当のまとめとしての委員会の結論というのは、この1行あけたところから始まるので、石川委員がおっしゃるような存続の結論を冒頭に挙げるというのは、今の形でやってあるのかなという気はするんですけどね。

豊田政典委員長

という意見も出されましたが、どうでしょうか。

石川善己委員

僕は個人的にそう思っただけなので。

中川雅晶委員

私も芳野委員に賛成で、冒頭の部分はどっちかと言ったら行政に対するエールという部分で、ここは最後、期待となっていて、あとは要望、要望、要望となっているので、そういう流れでいいんじゃないかなと思います。

豊田政典委員長

ほか、どうでしょう。

なければ、原案どおりでよろしいでしょうか。

(異議なし)

豊田政典委員長

この部分はね。

ほか、4のまとめについて意見はありますか。よろしいですか。

(なし)

豊田政典委員長

ありがとうございます。

じゃ、4までここをこうしまして、あと、7ページ以降については、下線部分、意見をいただいたやつ、9ページの(7)、それから11ページのところは下線のところです。BRTについてというのが別のところにあったやつをここに持ってきたり、それから、第19回目、今回本日のやつをつけ加えたという程度ですので、ご意見ありますか。

(なし)

豊田政典委員長

一通り、それプラス資料です。事務局に大変頑張ってもらっていて、まとめ上げてみましたので、これで確定というふうにしたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

中川雅晶委員

資料ですけど、せっかく専門的知見に来ていただいて、ここでやらせていただいたので、その資料も添付いただければと思ったんですが。

豊田政典委員長

第16回。

中川雅晶委員

第16回、入っていました。

豊田政典委員長

いやいや、第16回の中で。違うわ、ごめん。それは小嶋参考人の。

中川雅晶委員

そうそう。小嶋参考人の資料とか、それから、議論されたり質問した項目と答えと違って、多分総括されていましてですね、ここで。そういうようなものも添付していただい

たほうが流れとしてはわかりやすいかなと。

豊田政典委員長

第10回で小嶋参考人さんに来ていただきました。まとめは別についている冊子の9ページになりますが、ですけれども、資料はここには入れていない。

栗田議会事務局主事

今日の資料には入れていません。

豊田政典委員長

そうしたら、皆さん、同意いただければ、別添冊子とあわせて小嶋参考人から提供された資料もここに付けるという方向にしたいと思いますけれども、よろしいですか。

(異議なし)

豊田政典委員長

じゃ、それはそうさせていただきます。

伊藤 元委員

ちょっとちっちゃなことなんやけれども。

豊田政典委員長

何ページ。

伊藤 元委員

全体に。

豊田政典委員長

全体に。

伊藤 元委員

横文字に対して注釈をつけたらどうかというような意見があったと思うんですけど、ちょっと載っておらんだもんで。蛇足ですけども、よければその辺、追加しておいてやってください。

豊田政典委員長

済みません。まだ準備ができておりませんでした。

前回いただいた幾つか、デュアル・モード・ビークルとかL R Tとか、横文字、アルファベット表記のやつ。言葉の選択をこちらに任せていただければつけるようにしますけれども、それでよろしいでしょうか。

(異議なし)

豊田政典委員長

ありがとうございました。

それでは、これで確定したいと思いますですが、もう一度お聞きします。よろしいですか。

(異議なし)

豊田政典委員長

ありがとうございました。

[以上の経過により、別紙報告書案については、別段異議なく了承される。]

豊田政典委員長

本日はこれで終わりますが、次回、6月4日から、次のテーマ、コミュニティバスについて入りたいと思います。

どうもありがとうございました。終了します。

9 : 18 閉議